

第45週の発生動向(2007/11/5~2007/11/11)

1. 咽頭結膜熱については、東地方+青森市保健所管内において、新たに**警報**が出されています。
2. 水痘については、むつ保健所管内において、第44週から**注意報**が続いています。
3. 麻疹については、弘前保健所及び五所川原保健所管内において、新たに**注意報**が出されています。

第45週五類感染症定点把握

注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

保健所名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数						
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(100) インフルエンザ	1	0.07											1	0.02	1				1	0.08						
(72) RSウイルス感染症	1	0.11	2	0.22			8	1.60					11	0.26	8				1	0.13						
(73) 咽頭結膜熱	20	2.22	4	0.44	1	0.11			1	0.17	6	1.50	32	0.76	17				20	2.50						
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	1.11	20	2.22	1	0.11	6	1.20	11	1.83	5	1.25	53	1.26	17	3	3.00	7	0.88							
(75) 感染性胃腸炎	43	4.78	16	1.78	8	0.89			20	3.33	64	16.00	151	3.60	54	8	8.00	35	4.38							
(76) 水痘	10	1.11	3	0.33	8	0.89	14	2.80	12	2.00	17	4.25	64	1.52	6				10	1.25						
(77) 手足口病	5	0.56	29	3.22	5	0.56					1	0.25	40	0.95	-13				5	0.63						
(78) 伝染性紅斑			2	0.22	2	0.22			3	0.50			7	0.17	5											
(79) 突発性発疹	1	0.11	4	0.44	2	0.22	2	0.40	3	0.50	1	0.25	13	0.31	-1				1	0.13						
(80) 百日咳															0											
(81) 風しん															0											
(82) ヘルパンギーナ	2	0.22					1	0.20					3	0.07	-1				2	0.25						
(83) 麻疹(成人を除く)			11	1.22			3	0.60					14	0.33	13											
(84) 流行性耳下腺炎			2	0.22	4	0.44			1	0.17			7	0.17	0											
(86) 急性出血性結膜炎															0											
(87) 流行性角結膜炎					2	1.00	3	3.00	3	1.50			8	0.73	4											
(95) マイコプラズマ肺炎					2	2.00							2	0.33	-6											

は警報 は注意報 「空欄」：患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患

(注：結核については4月1日からの累計で、届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前1人
- (68) 梅毒(五類全数把握疾患)：弘前1人

(19年計：152人)
(19年計：3人)

感染症の窓

麻疹

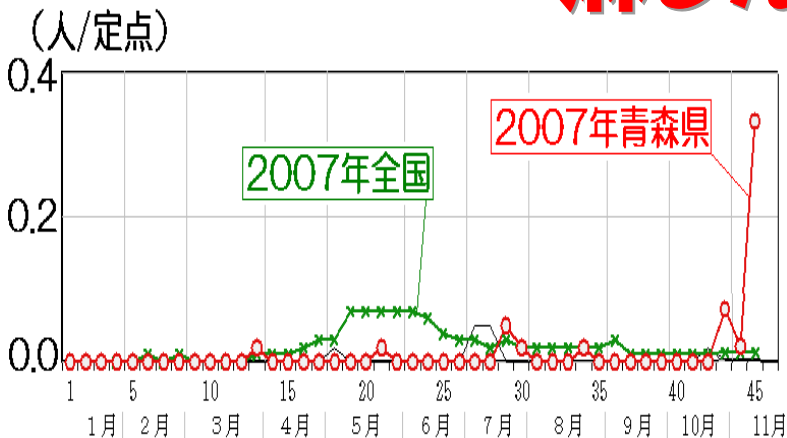


図1 全国及び青森県における発生状況

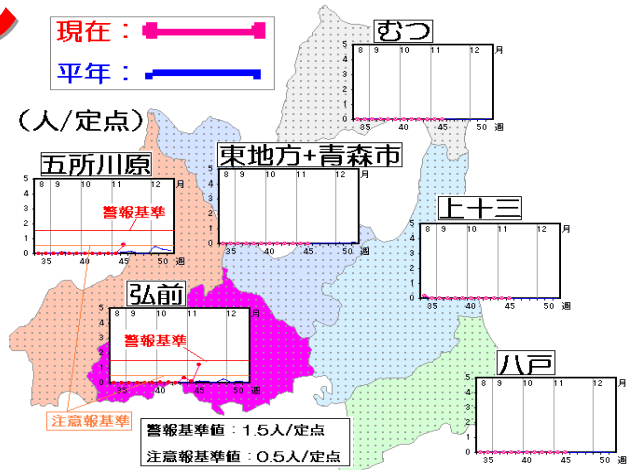


図2 保健所管内別発生状況(33週~45週)

本疾患は、麻疹ウイルスが飛沫や接触によって起こる感染症です。潜伏期間は、10~12日間で、発熱、咳、鼻水などの後、顔、体幹などに発疹が現れます。麻疹は、発症率が高く、不顕性感染が少ないことが特徴です。また、合併症(脳炎、肺炎、気管支炎など)により重症化することがあるため、注意が必要です。青森県においては、第45週から急激に全国平均を上回り、弘前及び五所川原保健所管内において**注意報**が出され、また、弘前市の小学校において、11月8日、学年閉鎖などの措置がとられていることから、他の地域でも、注意が必要です(図1,図2)。予防には、ワクチンが有効であり、接種にあたっては、保健所や医療機関に相談することをお勧めします。